

しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四

六三四たより



社会福祉法人 六三四 法人本部 〒187-0042 東京都小平市仲町364番地1

TEL 042-343-1895 FAX 042-346-0283 e-mail musashi@musashi1895.jp HP-URL <https://musashi1895.jp/>

事業所一覧

地域支援部 生活介護事業

- ・生活リハビリセンター六三四
- ・生活リハビリセンター雅
- ・生活リハビリセンター絆

生活支援部 共同生活援助事業

- ・青粋ケアホーム・彩 ケアホーム
- ・お結び (短期入所)

相談支援部

- 計画相談支援 障害児相談支援 事業
- ・スカイサポートセンター

あいさつ ご挨拶

社会福祉法人六三四
事務局長 山口 建

社会福祉法人六三四を設立して5年目の節目の年になりました。昨年度は、目まぐるしいほどの千変万化の年であり、現代世界は病に臥せっているとも言えます。本来、新型コロナウイルス等に対する人類共通のコンセンサスが図られ、共通認識の上で一歩ずつ前に進まねばなりません。現状は真逆であり日々、貧困や戦争によって普通の生活、普通に生きたい方々が生きられない世の中になりつつあります。今現在、我々にとってもどのように捉え、どのように行動すべきか様々な情報を収集分析した上で多角的な実行力が求められています。

今年度は、自ら可能なことから先ず一歩と心掛けるほか、より一層他職種連携がなされ誰もが、地域で安心して普通の暮らしを営むことができるよう、また具現化するためにも医療分野・高齢福祉・障がい福祉分野の連携を推進していかなければならないと考えております。

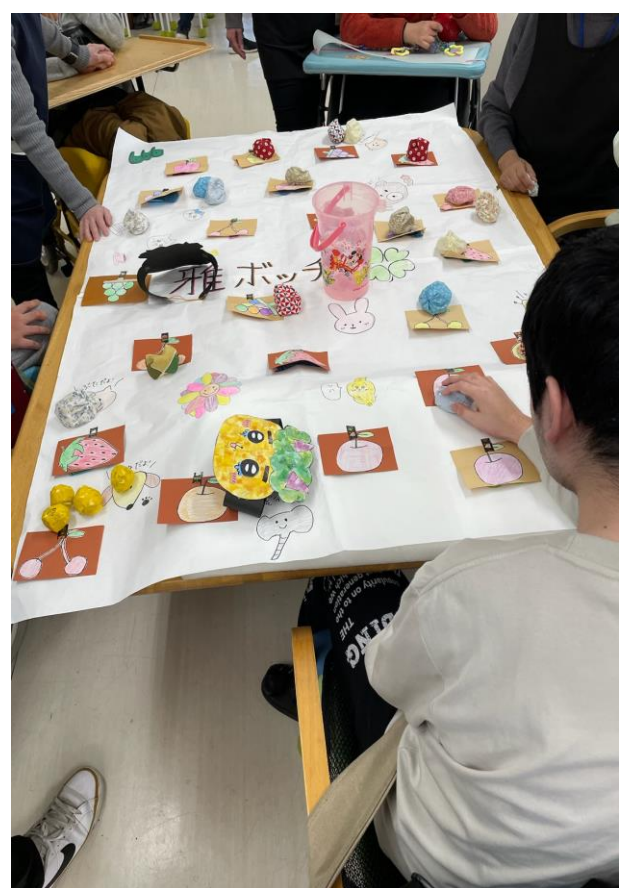
2014年1月に日本が批准した国連の障害者権利条約の理念に基づき、本人の意思決定支援へのアプローチも今後の大きな課題とし、障がい者の人権と主体性が尊重され、必要な支援を受けながら地域で自立生活ができる地域福祉サービスの提供を、社会福祉法人六三四として皆様方と共に築きご期待に添うべく職員一同さらなる精励を期して邁進する所存でございます。何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

たの かい お楽しみ会

生活リハビリセンター六三四・雅・絆では2月16日・2月17日にお楽しみ会を開催いたしました。

昼食は、イタリアンのシェフを招聘して、各施設懇談会で寄せられた利用者様のリクエストからメニューをお選びいただきお好きなものを召し上がっていただきました。

色紙などで桜の木を作り記念写真を撮るほか、アレンジしたボッチャや人生ゲームを制作し、催し物を行いました。利用者様の一喜一憂する姿などいつもは見られない表情があり、今後も利用者様の意見を反映しお楽しみいただけるイベントを企画していきたいと思っております。



新人職員紹介

生活リハビリセンター六三四

2023年1月4日 入職

【山下 いずみ】

利用者様みんなが楽しく六三四に通って頂けるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

生活リハビリセンター雅

2022年9月20日 入職

【樋野 雅之】

未経験で入職し不安も多々ありましたが、利用者様や職員の皆様のご指導を頂きながら日々勉強し頑張っていきたいと思ひます。

生活リハビリセンター六三四

2023年3月6日 入職

【川崎 勝利】

ドライバーの仕事先輩方に教わりながら勤めています。まだまだ半人前ですが頑張っていきたいと思ひます。

出張シェフ イタリアンダイニング Satoru さん

お楽しみ会でお世話になっているシェフのご紹介をさせていただきます。



お名前：釘本享寛さん（ニックネーム：クッキーさん）

お店所在地：東京都東村山市秋津町5-6-5CrossCourt秋津2F

お店電話番号：042-306-0630

お店ホームページURL： <https://www.satoru565.com>

QRコード：



お店の写真



※お店は2階ですが建物にエレベーター完備されています。

① クッキーさんの熱い想ひ

出張料理をやらせていただき、自分にまた新しい可能性があることを気づかせていただきました。利用者様が普段レストランにいけなくても、僕がくることでイタリア料理を楽しみ、喜んでいただける姿を拝見し、とてもやりがいを感じています。これからも様々なイタリア料理を皆様にご提供し、利用者様や職員さんにお楽しみ会をより楽しみにしていただけるようにしていけたらと思ひます。

② 教えて！クッキーさんコーナー

Q. イタリアンシェフを目指したきっかけは何ですか？

A. （昔から料理が好きでした。ただ仕事にしたいとは思ってなかったのですが、気が付けばいつも料理をしていました。食べることもワインも大好きなので、イタリア料理人が自分の天職なんだと思い目指すようになりました）

Q. 特に自信のある料理は何ですか？

A. （スパゲティと肉料理）

Q. 休日が一番好きな過ごし方は？

A. （子供が3人いるので、家族で色々な場所に行き、美味しい物を食べることにしています）

③ 六三四よりクッキーさんへ

【利用者様より】

- ・選んで食べられるお楽しみ会が楽しみです。
- ・トマトとシーフード以外も食べたいです（トマト、シーフードが苦手）
- ・冷製パスタ・ショートパスタのようにちがう種類のパスタも食べてみたいです。

【職員より】

- ・いつも多彩なメニューを考えていただきありがとうございます。今後もメニューのリクエストをさせていただきます。
- ・普段食べているお弁当よりも量が多いのですが、皆さん美味しそうに召し上がり、あっという間に完食される方もいます。
- ・お店とは違った環境で、顔なじみの職員や利用者様と一緒に食べられるのもこのようなイベントの醍醐味だと思います。

インタビューにお答えいただきありがとうございました。いつも美味しいお料理を作ってくださいクッキーさん！これからもよろしく願いいたします。六三四一同より

コロナ禍における理解啓発動画について

生活リハビリセンター 雅 所属の鬼久保と申します。私からみなさんにぜひご覧いただきたい動画がございますのでご紹介させていただきます。お隣の東大和市地域自立支援協議会生活部会に部会員として参加させていただいている際に『知ってください！コロナ禍での障害のある方への配慮』と題した理解啓発動画を制作しました。長期化しているコロナ禍により、障がいのある方は生活をしていくうえでこれまで以上の「大変さ」を感じています。その「大変さ」と、それに対して周りの方ができる配慮について知っていただくための動画となっております。ぜひご視聴ください。

① 「密」な介助での感染予防情報

- ・体の障害のある方を介助するときは、どうしても密になってしまいます。そんなときの感染予防の対策や工夫を紹介します。



② マスクをつけられない方への理解

- ・知的に障害がある方などは、マスクを付けることの意味を理解できず、外してしまうことがあります。外へ出かけられない苦勞があります。



③ マスク生活と聴覚障害者

- ・マスクで口元の動きが見えないことで聴覚障害のある方は、更なる困難を感じています。その際のコミュニケーションの工夫を紹介します。



寄附・寄贈

生命保険協会 東京都協会様から事業用車輜購入のご支援、株式会社ベガコーポレーション様より組み立て式オフィスデスクをご寄贈いただきました。車輜購入については、車椅子で乗車可能であり利便性も充実しているため、女性職員でも安心して運転する事が出来ます。新たに外部作業を進めているため、活動に適した車輜の整備ができました。また、デスクのご寄贈により記録や書式等の整備を見直す機会を増やし、業務の効率化に向けて大切に使用させていただきます。貴重なご寄附・ご寄贈をいただき重ねて御礼申し上げます。



今後の予定

4月28日（金）	お食事会（絆）	6月15日（木）	お楽しみ会（絆）
5月3日（水）	憲法記念日・開所日 （六三四・雅・絆）	6月16日（金）	お楽しみ会（六三四・ みやび・雅）
5月4日（木）	みどりの日・開所日 （六三四・雅・絆）	7月17日（月）	海の日・開所日 （六三四・雅・絆）
5月5日（金）	こどもの日・開所日 （六三四・雅・絆）	7月21日（金）	納涼会（六三四・雅・ 絆）
5月25日（木）	防災避難訓練 （六三四・雅・絆）	7月25日（火）	六三四たより発行
6月2日（金）	保育園交流会（絆）		

まいしゅうげつ すい もくようび
（毎週月・水・木曜日）
まいしゅうげつ きんようび
（毎週月～金曜日）
まいしゅうげつ きんようび
（毎週月～金曜日）

こべつりがくくんれん てらだ
個別理学訓練（寺田PT）
こべつげんごくんれん なるみ
個別言語訓練（鳴海ST）
こべつきのうくんれん いのうえ ま
個別機能訓練（井上あん摩マッサージ師）

編集後記

せいかつ みやび やぎき かつゆき
生活リハビリセンター 雅 矢崎 克幸

今回、六三四たよりの作成にご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。
社会福祉法人六三四の行事の一環としていつもお楽しみ会でイタリアン料理を振る舞って下さっている釘本シェフには大変お世話になっております。
美味しいイタリアンや、利用者様の要望にお答えいただき感謝しております。釘本シェフの「自分にもまだ様々な事が挑戦出来る」との熱い思いを知り、私も身が引き締まる思いになりました。今後ともよろしく願い致します。
コロナ禍における理解啓発動画を視聴して様々な物事を知る良い機会となりました。
マスクが出来ない方達への配慮点や、室内で過ごす苦悩や苦痛等を共有する事で、少しでも外出の機会を持ちやすくなることに繋がると感じました。
まだまだ勉強不足であると痛感し、自分でも理解を深め利用者様の支援に繋がっていかないと感じている所存です。皆様に読みやすく伝わりやすい六三四たよりになるよう努力してまいりますので、今後ともよろしく願い致します。最後までお読みいただきありがとうございました。